

学期の変更及び夏期休業日の変更について

1 学校運営について

メリット	デメリット
①新学習指導要領の実施に伴う授業時数の確保 ア（小学校）一週間あたりの授業時数の維持 イ（中学校）警報発令時やインフルエンザによる臨時休業等への対応が可能 ウ現行どおりの学校行事が実施可能 ②英語教育などの特色のある教育の推進が可能 ③カリキュラムマネジメントに余裕ができ、学校独自の教育活動の編成が可能	①状況により熱中症対策としての時間割の変更が必要

2 児童生徒への影響について

メリット	デメリット
①小学校では5時間下校による児童の負担軽減 ②現行どおりの授業時数による児童の集中力の維持 ③年間を通して放課後の地域活動等への参加の促進	①夏休みの宿題を行う期間の短縮

3 保護者への影響について

メリット	デメリット
①学校給食の提供による昼食の用意の負担軽減 ②長期休業期間が短くなることによる負担軽減 ③子どもがこれまでより早い時期に学校生活に戻ることによる安心感	①家庭教育の場、親子での交流機会の減少

4 教職員への影響について

メリット	デメリット
①年間を通じた職員会議や職員研修等の時間の確保 ②現行の勤務状態を維持することが可能	①夏期休業中における休暇の取得、職員研修の機会の確保がこれまでより困難 ②2学期に向けての教材研究等準備期間の減少

5 学習環境の改善について

メリット	デメリット
①エアコンの設置により快適な室内温度での学習が可能	①登下校や部活動について、暑さ対策等の配慮が必要

6 その他

①全国自治体の状況

平成30年度には小学校で54.0%、中学校は58.1%と半数以上の公立の小中学校で夏期休業日を短縮している。今年度、夏期休業日を短縮している学校はさらに増加している。

②近隣自治体の状況

	自治体名	2学期の始業日		自治体名	2学期の始業日
県内	奈良市	8月25日	大阪府	交野市	8月25日
	葛城市	8月25日		四條畷市	8月26日
	広陵町	8月25日		枚方市	8月26日

③その他

学期・休業日の変更に伴う給食開始日等の対応の詳細については、後日あらためて教育委員会で決定する。